

ちよっと古い話題で申し訳ないが、「2011年において世界経済フォーラムから発表された世界のIT先進国ランキングを見ると1位スウェーデン、3位フィンランドで北欧が上位を占めており、その他は5位がアメリカで10位が韓国、日本は19位である」¹⁾とのことである。縁あって、そのIT世界No.1と言われるスウェーデンで、実際に、市民としての生活を過ごすことになったので、私のIT生活の感想を紹介することにする。

■世界は1つである

インターネットの普及により、世界はどこにいても変わらない、世界は1つであると実感している。スウェーデンにいながらYahoo! News、日経新聞ニュースなどにより日本での出来事が実時間でチェックできる。日本のテレビも視聴できる。特に日本との時差が7時間あるため、日本で毎日見ていたNHKの朝の連続ドラマも同じ日の朝に視聴できるので、スウェーデンで生活しているとは思えなくなる。それにも増して、LINEにより家族との日常の出来事が共有でき、またLINE電話等により、無料でテレビ電話を楽しめることは驚きである。ネットが普及していなかった1992年のアメリカ滞在の際は、家族とも切り離され本当に異国で生活しているとの実感があつた。それが、現在では日本における生活とほぼ同じ生活ができる。これは異国での生活にあこがれていたとしたら逆に不幸であるかもしれない。

■スウェーデンと日本のIT生活の違い

《パーソナルナンバーの恩恵》

現在、日本で話題となっているマイナンバーであるが、スウェーデンでは、パーソナルナンバー(PN)と呼ばれ、PNなしでは、銀行口座開設は無論のこと、無線ネットの月額契約さえできない、などさまざまな制約を受ける。その代わりに取得した時点で、ほぼすべてのスウェーデン国民としての恩恵を受ける。たとえば、すべての教育関係の出費は無料であり、また医療代、薬代さえも原則無料である。私の実体験であるが、風邪を悪化させ病院に行き治療を受けた。そして薬をもらうことになったが、日本における処方箋など、一切もらえなかったが、どこかの薬局でも、PNを言えば、薬

中嶋正之 Masayuki NAKAJIMA

ウプサラ大学

[正会員] masayuki.nakajima@speldesign.uu.se

東工大・情報理工学専攻教授を経て、2012年同大名誉教授。現在、スウェーデン、ウプサラ大学教養学部教授、神奈川工科大学情報工学科客員教授。

はもらえた。私自身の治療、取得した薬などの履歴がすべて、PNをもとにネットで管理されているとのことであつた。大変便利であると実感した。また当然であるが、確定申告時期になると私の給与や出費の明細が明記され、税金が計算された書類が郵送され、もしそれで問題なければネットに入り、承諾すれば、ものの1分で確定申告が完了した。PNの威力を実感した。

《スウェーデンはインターネット活用社会?》

日本と同様にAmazonから日用品や電気製品などが購入できることは無論であるが、スウェーデン生活を開始するにあたり、ネット上での中古マーケットは大変役に立った。机、家具、自転車も安く購入することができ、大変ありがたかった。特に驚いたのは、自宅の購入に際してのネットの利用であつた。日本であれば、

応
般

[シニアコラム]

IT好き放題



[No.62]

スウェーデンのIT生活

不動産会社のネットやチラシに書かれている売値から実際の購入に際しては、値下げ交渉が重要であるが、スウェーデンでは驚いたことに売値は最低価格であり、それからネット上でのオークションが開始される。何人がオークションに参加されているかと現在のビット価格がオンラインで表示される。私自身、ぜひ購入したい物件が見つかり、ビットに参加した。2人でビットの掛け合いとなり、最終的には私が落札したが、結構、売り出し価格よりも高く購入することになってしまった。ネット社会の有効活用を実感することになった。

■eduroamの普及

ウプサラ大学では全員に、eduroamのユーザ名とパスワードが付与される。このeduroamは、スウェーデンの大学は無論、欧州の大学において、ウプサラ大学とまったく同じ環境でネットが使えるため大変重宝している。最近では日本の大学にも普及しつつあるのでぜひ日本のすべての大学で利用できるようになってほしいと思う。

以上紙面の都合上詳しくは紹介することができなかったが、スウェーデンにおけるIT活用生活の実感を紹介させていただいた。

参考文献

1) <http://blogs.itmedia.co.jp/yoshimasa/2012/09/ctcit1-4896.html>

(2015年12月14日受付)